

このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

変更 鼻隠しと部品を変更しました。

本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

本説明書は、「SSポートGⅡ、ゆき盛くんⅡ・耐風くんⅡ」を変形敷地で施工する場合の屋根部の加工・切断・取付要領について説明しています。本体の組立・施工については本体に同梱の組立・施工説明書を併せてご覧ください。

角度割り出し表・三角関数表

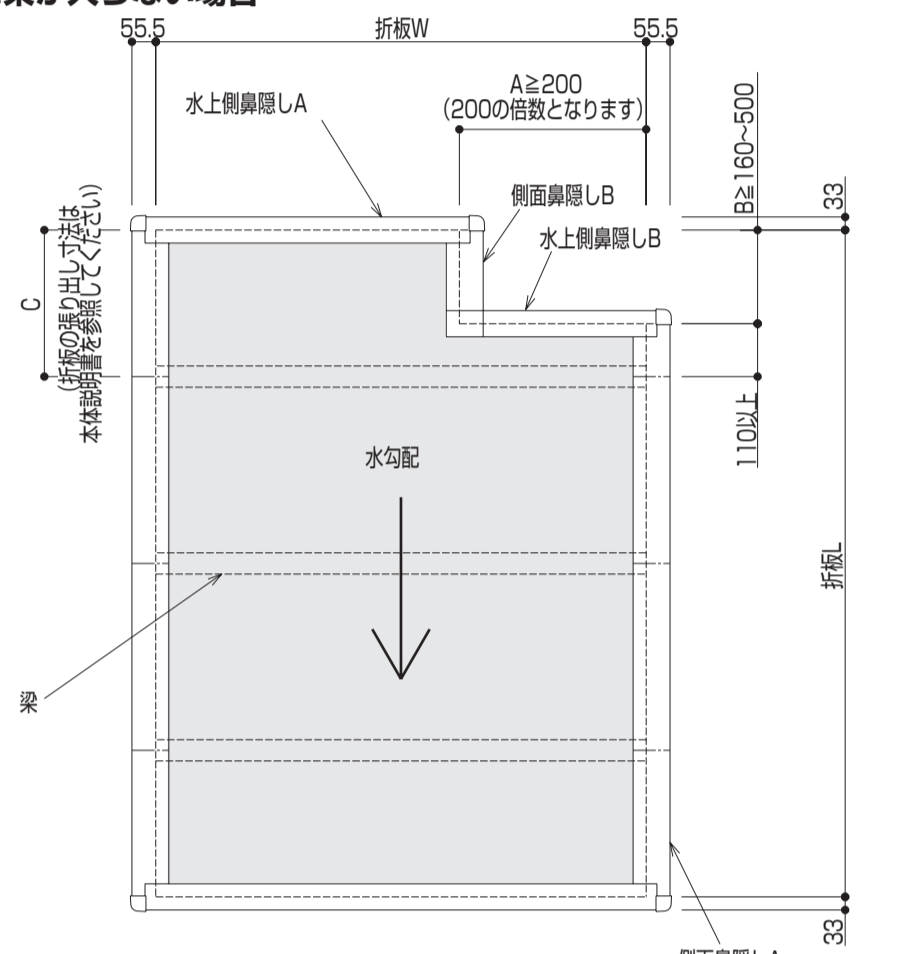
θ	X	Y	cosθ	tanθ
1.0°	17	0.99985	0.01746	
1.5°	26	0.99966	0.02619	
2.0°	35	0.99939	0.03492	
2.5°	44	0.99905	0.04366	
3.0°	52	0.99863	0.05241	
3.5°	61	0.99813	0.06116	
4.0°	70	0.99756	0.06993	
4.5°	79	0.99692	0.07870	
5.0°	87	0.99619	0.08748	
5.5°	96	0.99539	0.09629	
6.0°	105	0.99452	0.10510	
7.0°	123	0.99255	0.12278	
8.0°	141	0.99027	0.14054	
9.0°	159	0.98769	0.15838	

加工・切断・取付要領

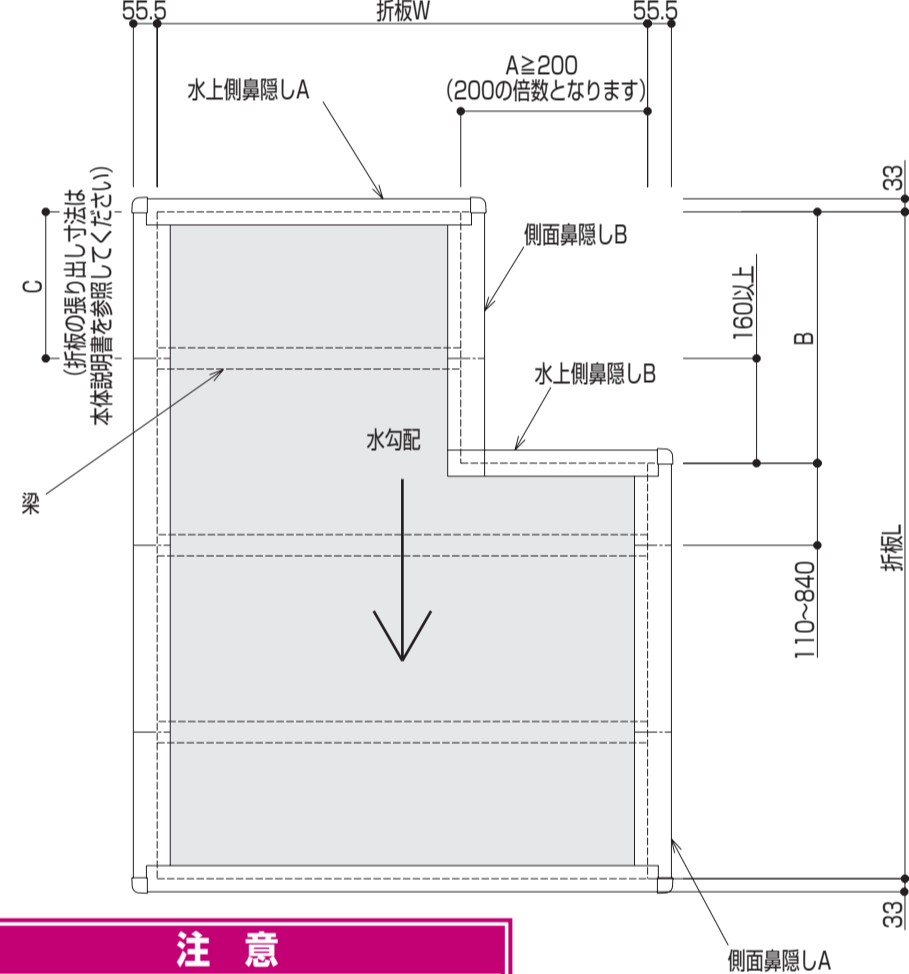
入隅(水上側)

製作制限

●入隅部に梁が入らない場合



●入隅部に梁が入る場合



注意

4本柱の場合、梁を超えて切詰めることはできません。

注意

- カーポートを傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋め込み深さを確保してください。商品に倒壊のおそれがあります。
- 屋根ふき材(折板)の取付は、基礎コンクリートが確実に固まってから行ってください。基礎コンクリートは、4~7日の養生期間が必要です。

折板カットのポイント

- 折板のカットは、電動ニブラなどを使用すると容易にカットできます。
- 折板にテープを貼って位置決めすると、容易にカットできます。

同梱一覧

■出隅自在コーナー部品 GCD-(DS)EH-A

品名	出隅自在コーナーキャップA	出隅自在コーナーキャップB	なべドリルねじ(φ4×19)	なべドリルねじ(φ4×19)
図番	2K-39381	2K-39382	DN-4019B-SC	DN-4019B-SC
個数	2	2	12	2
備考			出隅自在コーナーキャップ取付用	鼻隠し取付用

■入隅コーナー部品 GCD-(DS)EH-B

品名	コーナーキャップ	入隅コーナーキャップ	入隅コーナー連結金具	なべドリルねじ(φ4×19)	なべドリルねじ(φ4×19)	なべドリルねじ(φ4×19)	なべドリルねじ(φ4×19)	なべドリルねじ(φ4×19)	穴塞ぎシール
図番	2K-39379	2K-39380	6K-12761	DN-4019B-SC	DN-4019B-SC	DN-4019B-SC	DN-4019B-SC	DN-4019B-SC	K-41844
個数	1	1	1	4	3	2	1	2	1
備考				コーナーキャップ取付用	入隅コーナーキャップ取付用	入隅コーナー連結金具取付用	コーナーキャップ連結取付用	鼻隠し取付用	

■雨樋部品 GCD-(DS)EH-CN

品名	雨樋セット	ゴミ出しエルボ	止水板	止水板	ドレイン(φ4×19)	中トラスタッピンねじ(φ4×25)
図番	EA-F1	2K-38866	6K-12757	6K-12758	K-36979	BM-4025GDB
個数	1	1	1	1	1	8
備考			L	R		止水板取付用

■たて樋 GCD-(DS)KT30N

品名	たて樋
図番	2K-38903
個数	1
備考	L=3000

■たて樋 GCD-(DS)KT13N

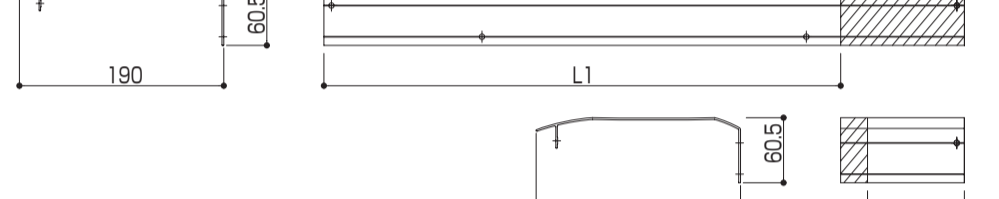
品名	たて樋
図番	2K-38903
個数	1
備考	L=1300

切断・加工要領

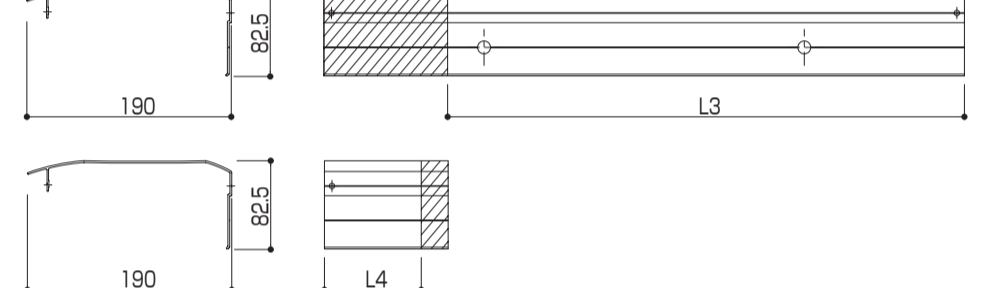
《切断寸法表》

条件	折板	水上側鼻隠しA	水上側鼻隠しB	側面鼻隠しA	側面鼻隠しB	梁
W	L	A	B	L1=W-A+46	L2=A-33.5	L3=L-B
				L4=B-33.5	L5=W-A	

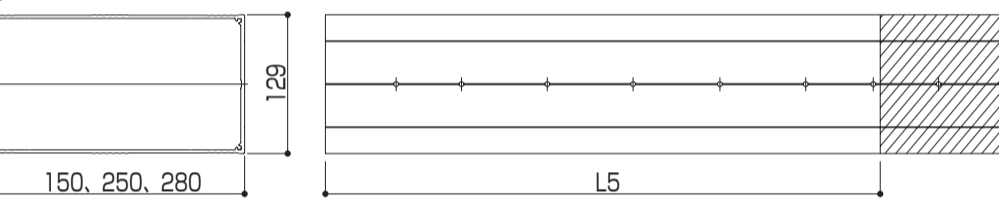
●水上側鼻隠し



●側面鼻隠し



●梁(入隅部に梁が入る場合)

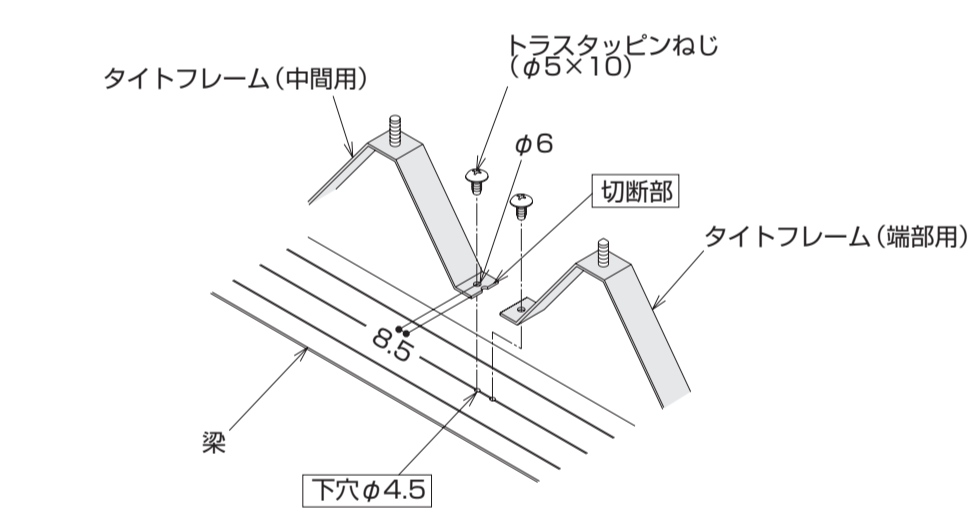


●タイトフレーム

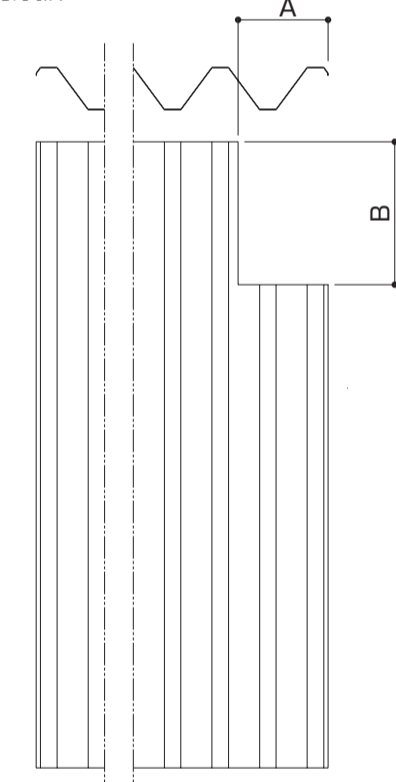
梁を切詰めた場合、タイトフレーム(中間部)に加工が必要な場合があります。

梁の切詰め寸法(単位:mm)	タイトフレーム(中間部)の切断
600の倍数	切断無
600以外の200ピッチでの切詰め	タイトフレーム谷の中心200ピッチ

- 1) タイトフレーム中間部を切断してください。
- 2) 切断面から8.5mmの位置に穴加工(φ6)を施してください。
- 3) 梁に現合で下穴(φ4.5)を明け、タイトフレームを取付けてください。



●折板



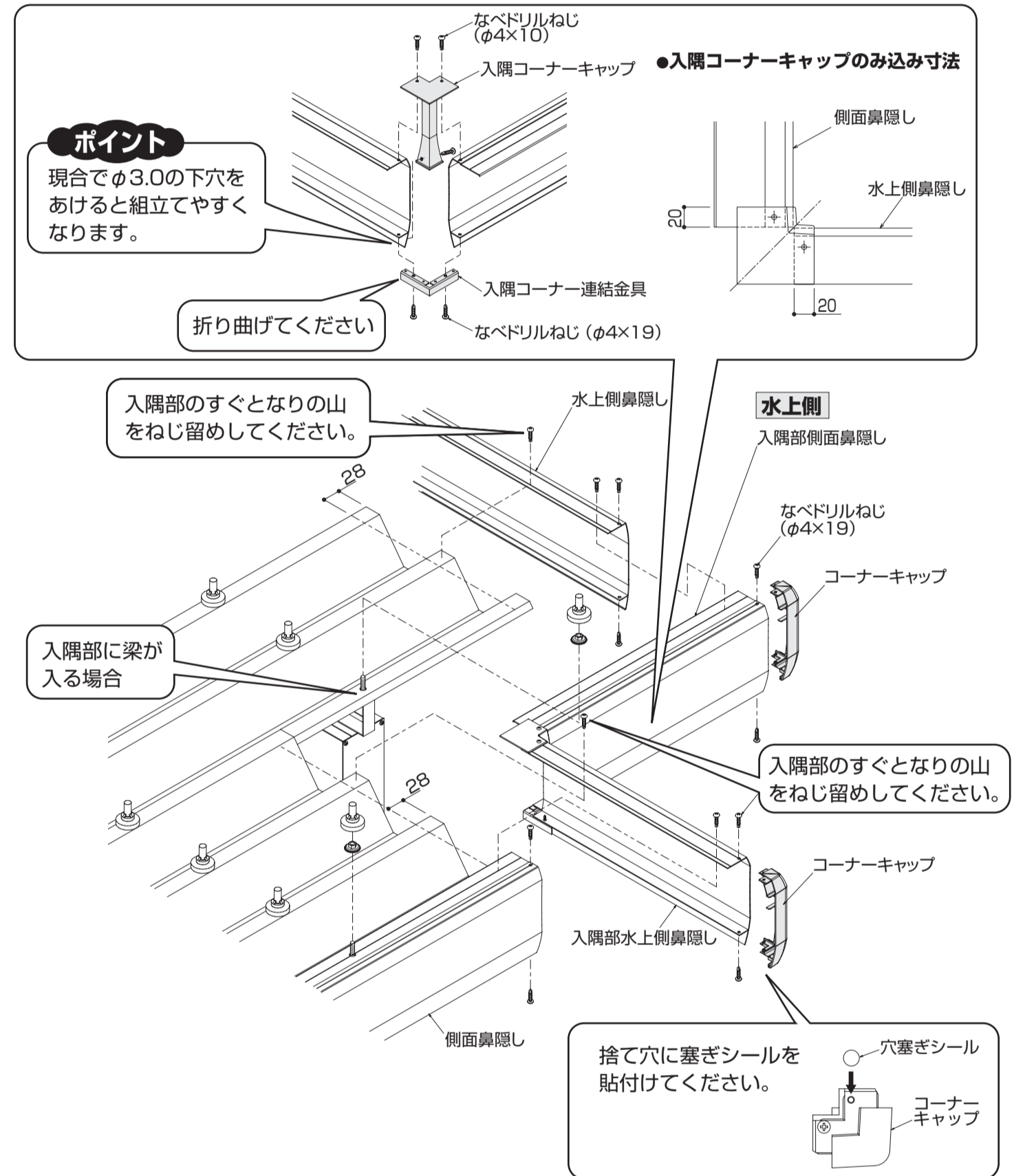
取付要領

- 1) 側面鼻隠しを本体説明書を参考に取付けてください。
- 2) 折板の端部から、28mmの位置に水性ペン、またはテープなどで印を付けてください。(図参照)

ポイント

折板にケガキ線などのキズをつけるとサビの原因になります。

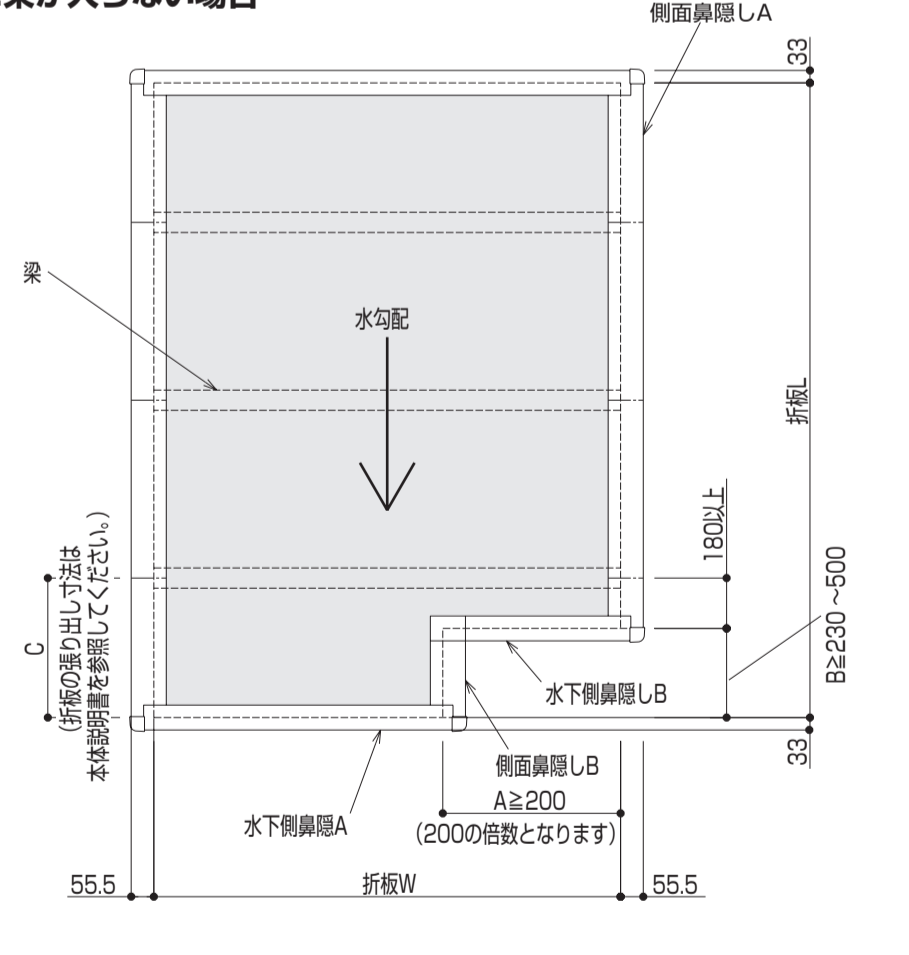
- 3) 入隅部の水上側鼻隠しと側面鼻隠しを入隅部の角度にあわせて折り曲げた入隅コーナー連結金具と入隅コーナーキャップで連結してください。
- 4) 連結した入隅部水上側鼻隠しの端部にコーナーキャップを取付け、折板の印にあわせてかぶせ、側面鼻隠しと連結してください。
- 5) 水上側鼻隠しにコーナーキャップを取付け、折板にかぶせて、入隅部側面鼻隠しと連結してください。
- 6) 鼻隠しの穴にあわせ、現合で折板にねじ留めてください。



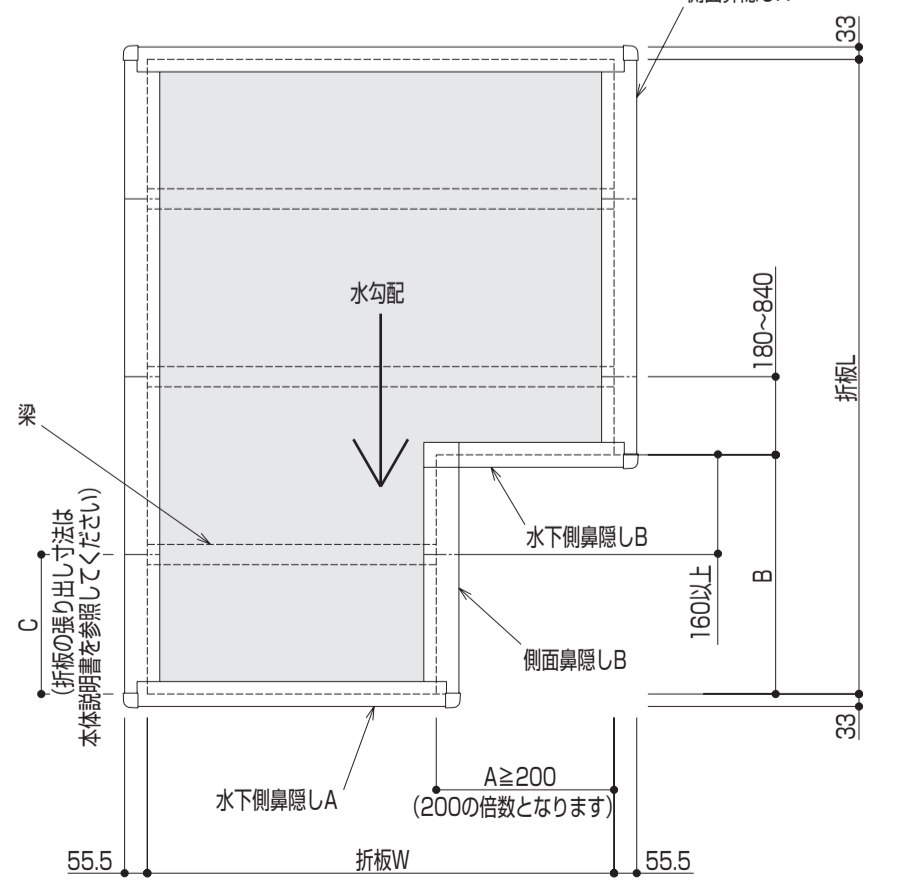
入隅(水下側)

製作制限

●入隅部に梁が入らない場合



●入隅部に梁が入る場合



注意

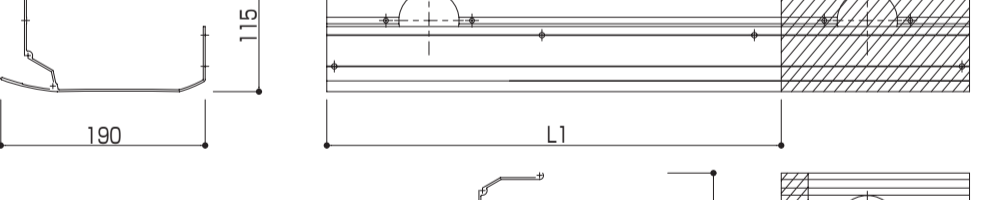
4本柱の場合、梁を超えて切詰めることはできません。

切断・加工要領

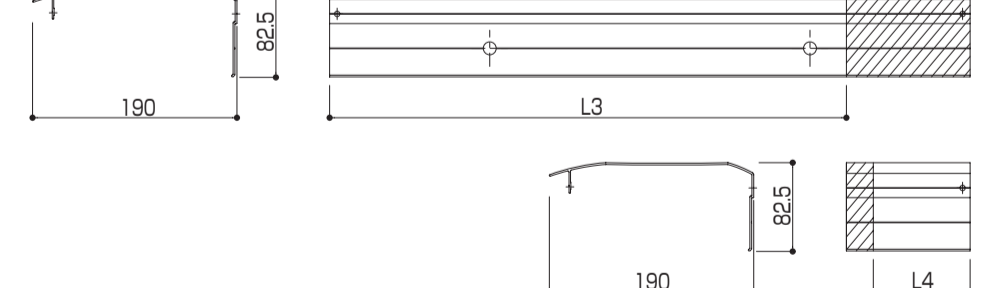
《切断寸法表》

条件	折板	水下側鼻隠しA	水下側鼻隠しB	側面鼻隠しA	側面鼻隠しB	桁
W	L	A	B	L1=W-A+46	L2=A-33.5	L3=L-B
				L4=B-33.5	L5=W-A	

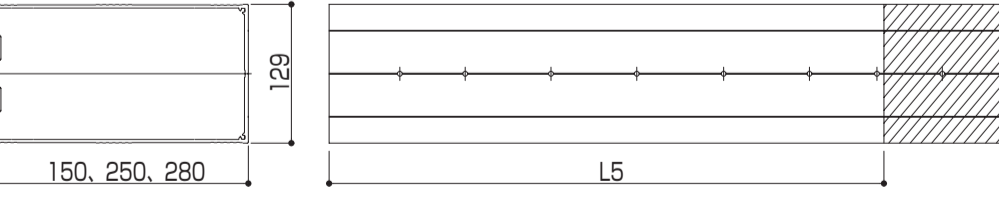
●水下側鼻隠し



●側面鼻隠し



●梁(入隅部に梁が入る場合)

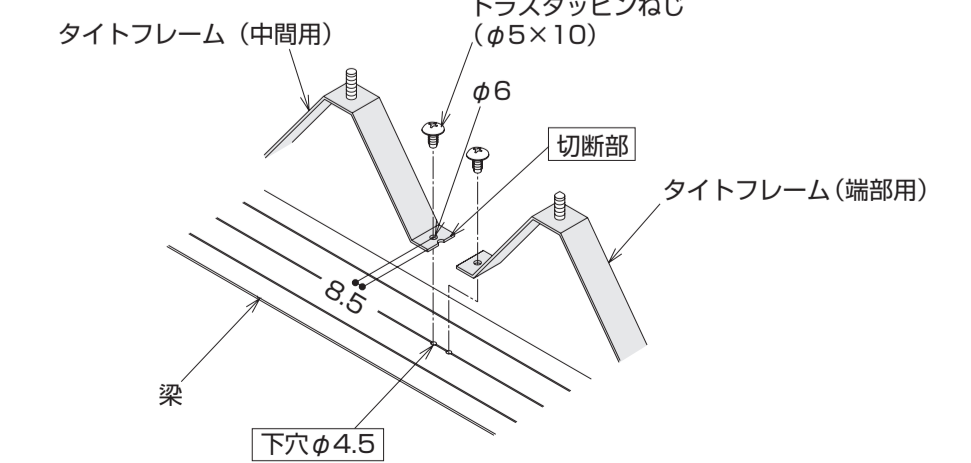


●タイトフレーム

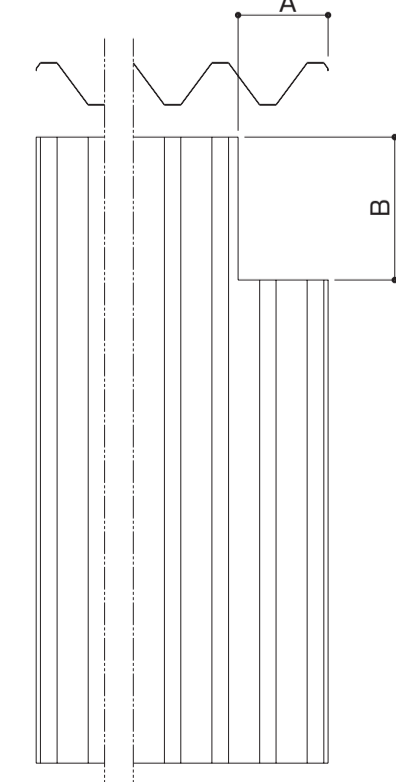
梁を切詰めた場合、タイトフレーム(中間部)に加工が必要な場合があります。

梁の切詰め寸法(単位:mm)	タイトフレーム(中間部)の切断
600の倍数	切断無
600以外の200ピッチでの切詰め	タイトフレーム谷の中心200ピッチ

- 1) タイトフレーム中間部を切断してください。
- 2) 切断面から8.5mmの位置に穴加工(φ6)を施してください。
- 3) 梁に現合で下穴(φ4.5)を明け、タイトフレームを取付けてください。



●折板



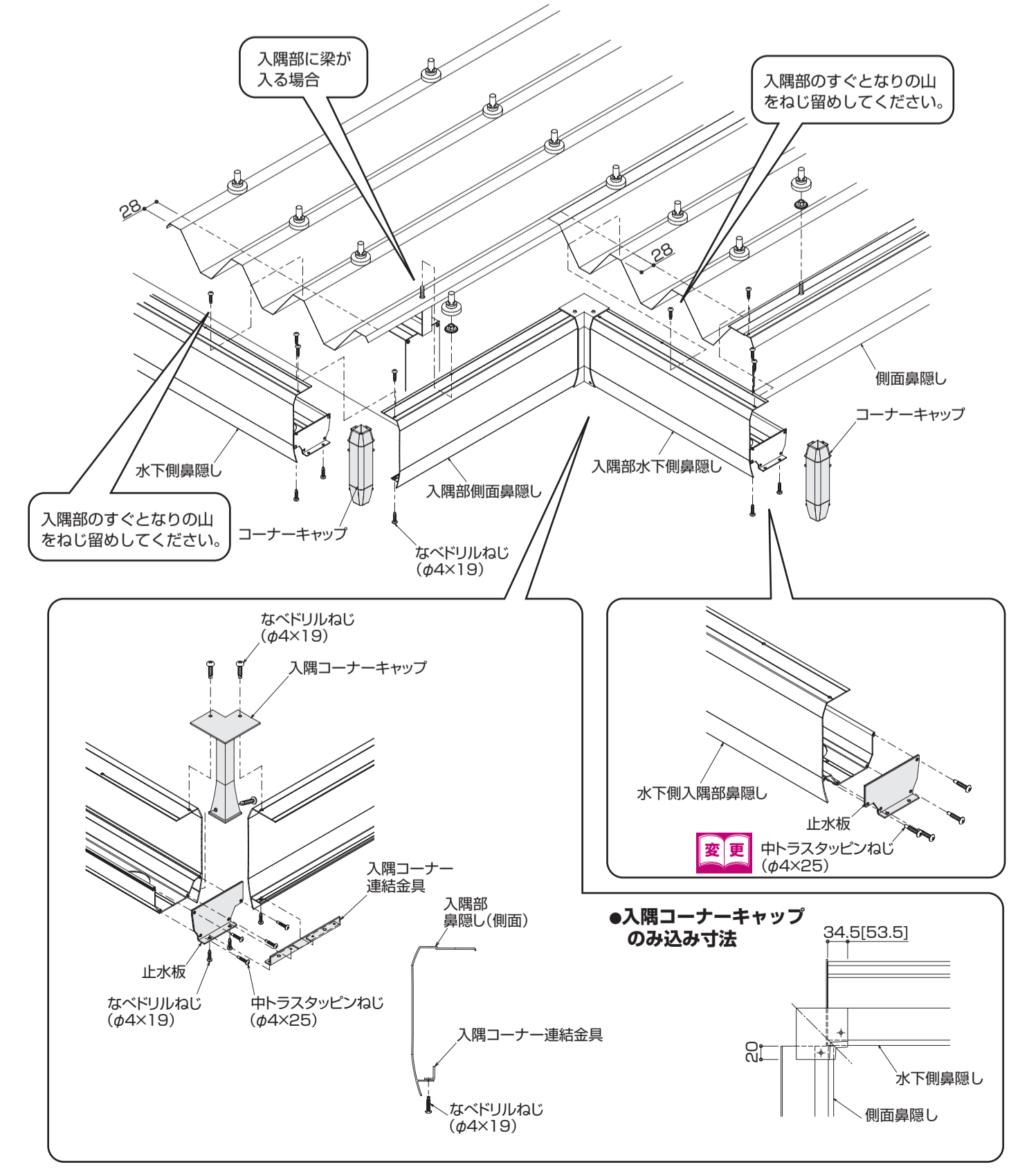
取付要領

- 1) 側面鼻隠しを本体説明書を参考に取付けてください。
- 2) 折板の端部から、28mmの位置に水性ペン、またはテープなどで印を付けてください。(図参照)

ポイント

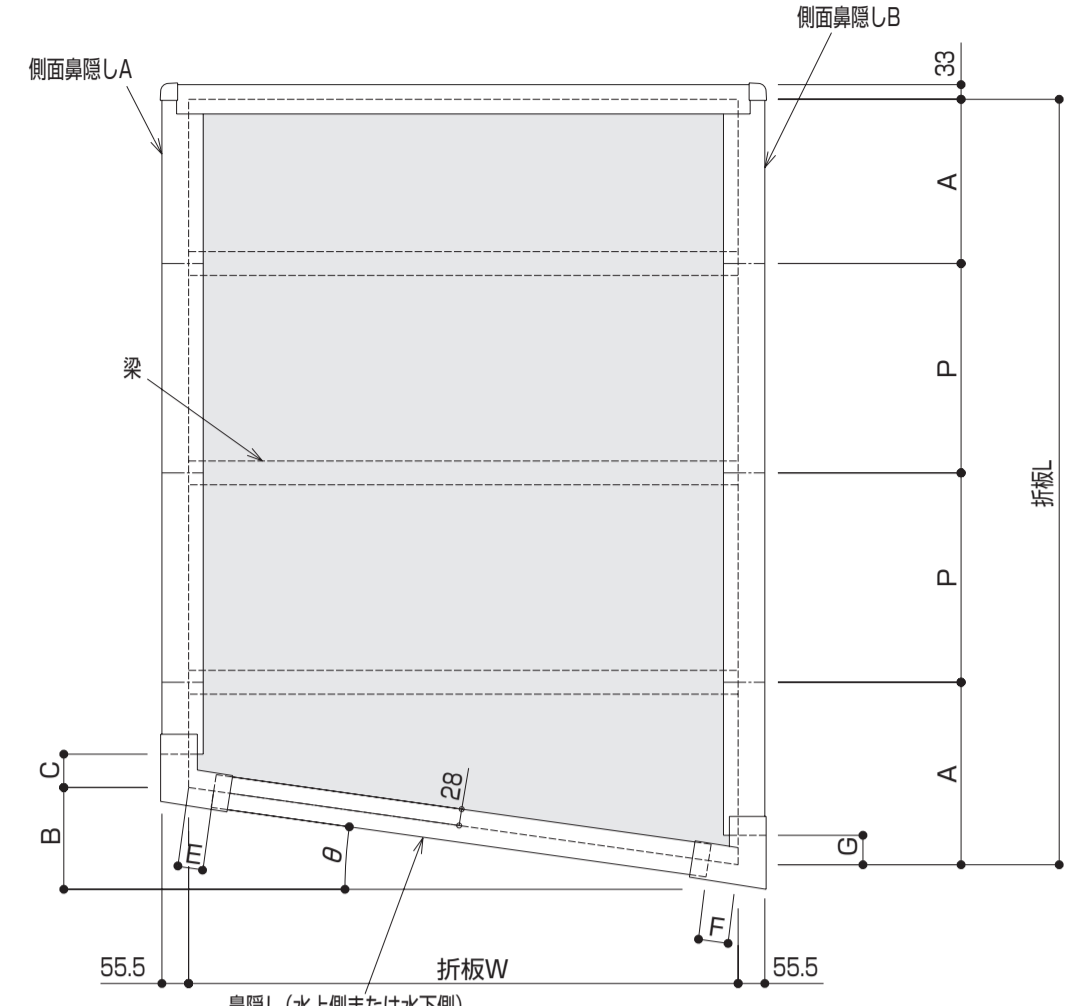
折板にケガキ線などのキズをつけるとサビの原因になります。

- 3) 水下側鼻隠しの端部に止水板を取付けてください。
- 4) 入隅部の水下側鼻隠しと側面鼻隠しを入隅コーナーキャップで連結してください。
- 5) 連結した入隅部水下側鼻隠しの端部にコーナーキャップを取付け、折板の印にあわせてかぶせ、側面鼻隠しと連結してください。
- 6) 水下側鼻隠しにコーナーキャップを取付け、折板にかぶせて、入隅部側面鼻隠しと連結してください。
- 7) 鼻隠しの穴にあわせ、現合で折板にねじ留めてください。



出隅A

■製作制限



柱本数	呼称実行	呼称開口	折板寸法		対応可能角度
			長さ	幅	
4本柱	L55	W30	5390	3000	9.0°以下
	L60	W30	5900	3000	9.0°以下
	L55	W48	5390	4800	5.5°以下
	L60	W48	5900	4800	5.5°以下
	L55	W55	5390	5400	5°以下
	L60	W55	5900	5400	5°以下
6本柱	L55	W30	5390	3000	7.0°以下
	L60	W30	5900	3000	9.0°以下
	L55	W48	5390	4800	4.5°以下
	L60	W48	5900	4800	5.5°以下
	L55	W55	5390	5400	4.0°以下
	L60	W55	5900	5400	5.0°以下
8本柱	L55	W60	5390	6000	4.0°以下
	L60	W60	5900	6000	4.5°以下
	L55	W80	5390	7800	1.5°以下
	L60	W80	5900	7800	1.5°以下

■切断・加工要領

〈切断寸法表〉

条件	折板				C	E	F	G	鼻隠し (水上側または水下側)	側面鼻隠し A	側面鼻隠し B
	W	L	θ	B=W×TANθ							
寸法例	5400	5390	4	378	51	27	25	46	5361	4961	5344

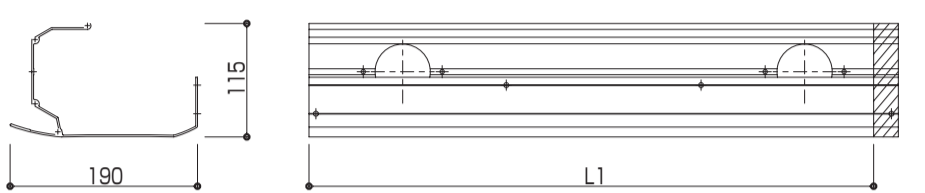
●寸法公式(標準)

$C = 36 \times \tan \theta - 13 / \cos \theta + 62$
 $E = 13 \times \tan \theta - 36 / \cos \theta + 62$
 $F = 62 - 13 \times \tan \theta - 36 / \cos \theta$
 $G = 62 - 36 \times \tan \theta - 13 / \cos \theta$

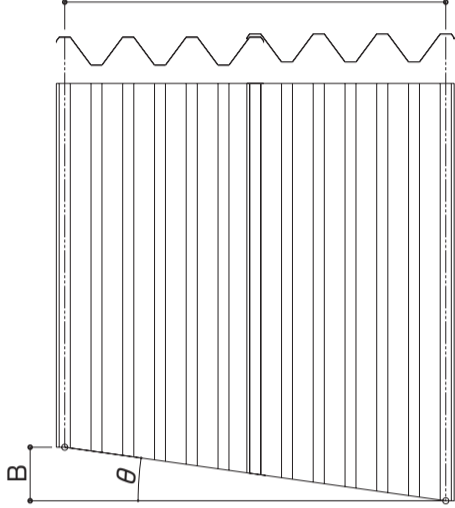
●寸法表

θ	標準			
	C	E	F	G
1	50	26	26	48
1.5	50	26	26	48
2	51	25	25	47
2.5	51	25	25	47
3	51	25	25	47
3.5	51	25	25	47
4	52	27	27	46
4.5	52	27	27	46
5	53	24	24	45
6	53	24	24	45
7	54	24	24	44
8	54	24	24	44
9	55	28	23	43

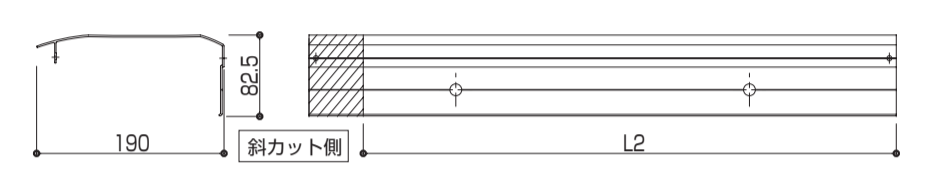
●鼻隠し(水上側または、水下側)



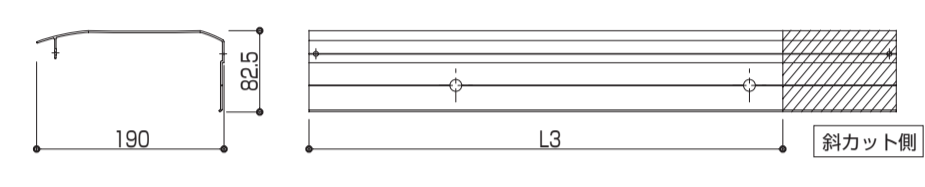
●折板



●側面鼻隠しA



●側面鼻隠しB

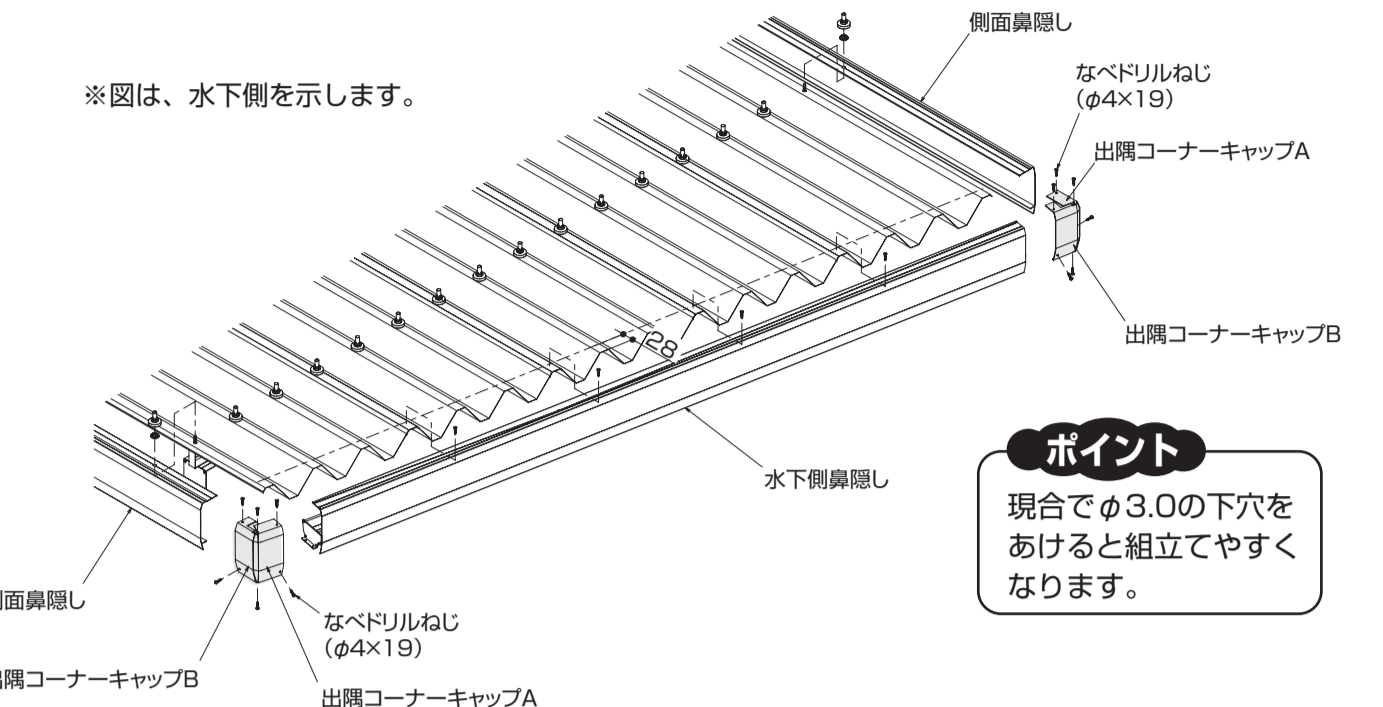


■取付要領

- 側面鼻隠しを本体説明書を参考に取付けてください。
- 折板の端部から、28mmの位置に水性ペン、またはテープなどで印を付けてください。(図参照)
- 鼻隠し(水上側または水下側)に出隅自在コーナーキャップを組立て、取付けてください。
- 鼻隠し(水上側または水下側)を折板の印にあわせてかぶせ、出隅自在コーナーキャップを側面鼻隠しに連結してください。
- 鼻隠しの穴にあわせ、現合で折板にねじ留めしてください。

ポイント

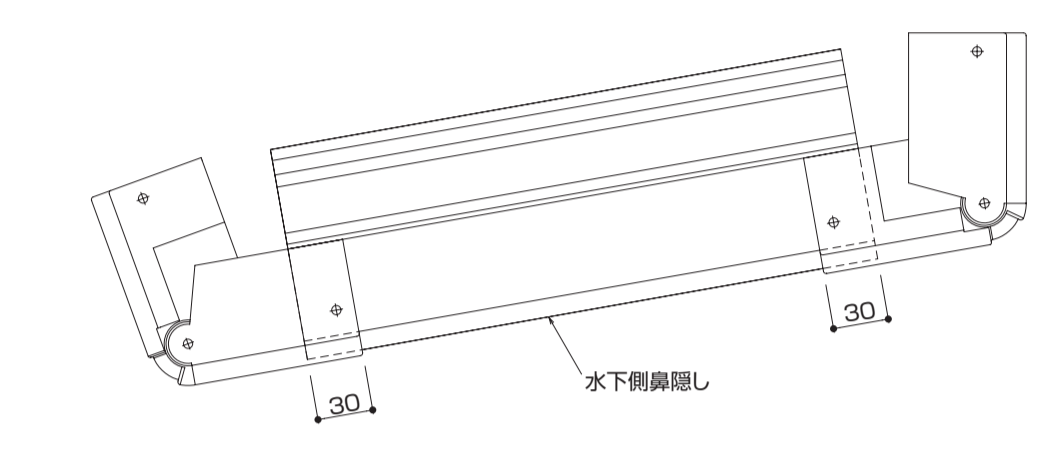
折板にケガキ線などのキズをつけるとサビの原因になります。



ポイント

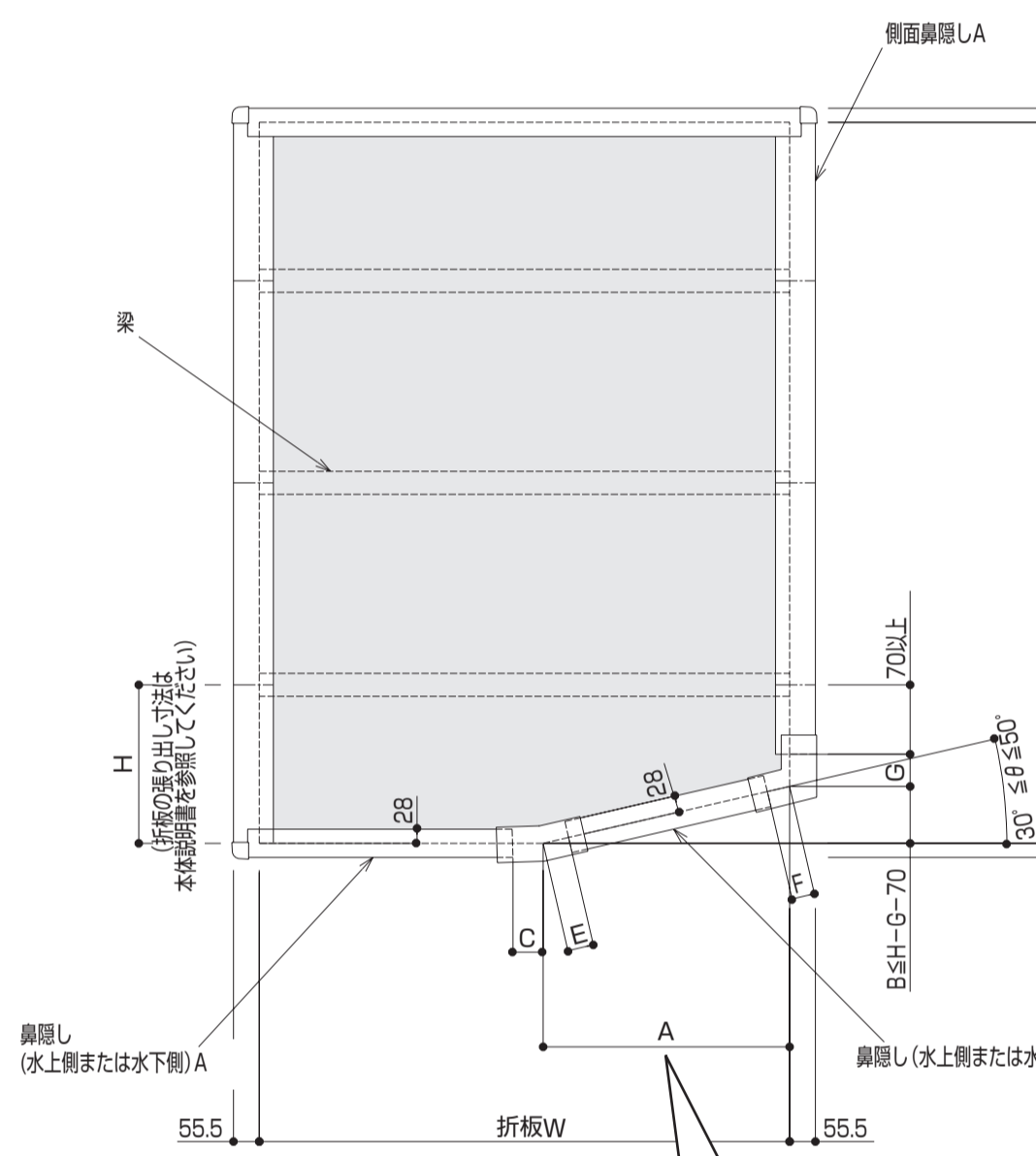
現合でφ3.0の下穴をあけると組立てやすくなります。

●出隅自在コーナーキャップのみみみ寸法



出隅B(右コーナー)

■製作制限



- A寸法は、水下側の場合、雨水が雨樋に流れるようにするために、右表の寸法例の寸法にて設定してください。
- A寸法は、水上側の場合、任意に設定可能ですが、B寸法制限を満足し、規格の鼻隠し長さで足りるようにするためには、A寸法は、下記の表の寸法制限にて、設定してください。

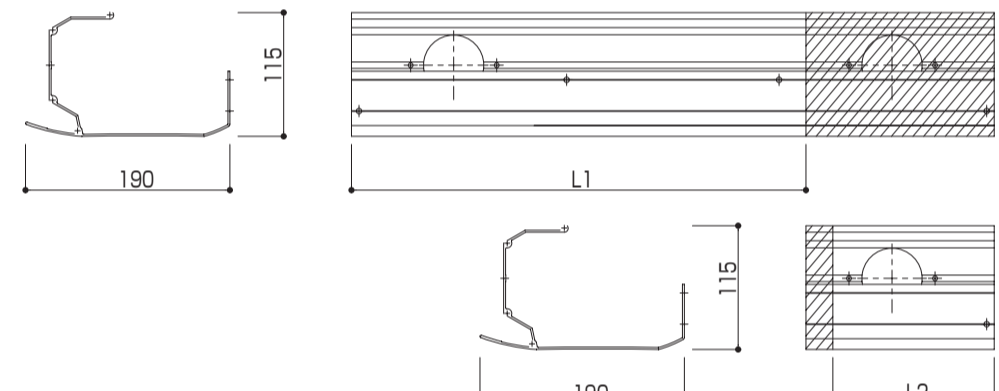
30°の場合	130 ≤ A ≤ 675
35°の場合	125 ≤ A ≤ 590
40°の場合	115 ≤ A ≤ 425
45°の場合	110 ≤ A ≤ 315
50°の場合	100 ≤ A ≤ 230

■切断・加工要領

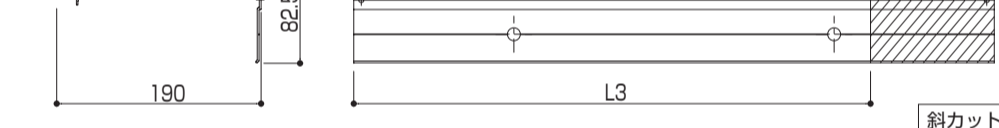
〈切断寸法表〉

条件	折板				C	E	F	G	鼻隠し (水上側または水下側) A	鼻隠し (水上側または水下側) B	側面鼻隠し	
	W	L	θ	B=A×TANθ								
寸法例	5400	5390	30	575	332	20	30	70	4788	614	4988	
			45	175	175				5188	187	5135	
	45	175	175	35	217	217	35	25	80	5188	187	5135
				45	175	175	35	25	80	5188	187	5135

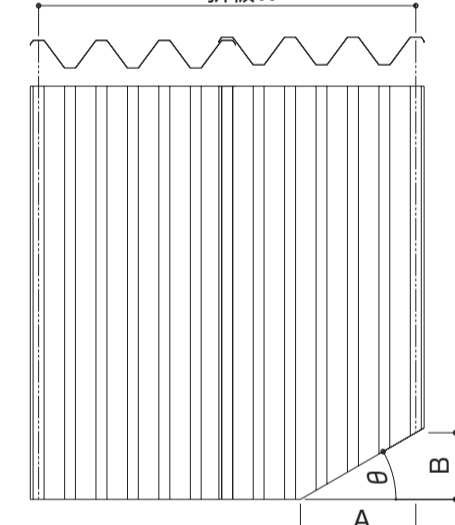
●鼻隠し(水上側または、水下側)



●鼻隠し(側面)



●折板



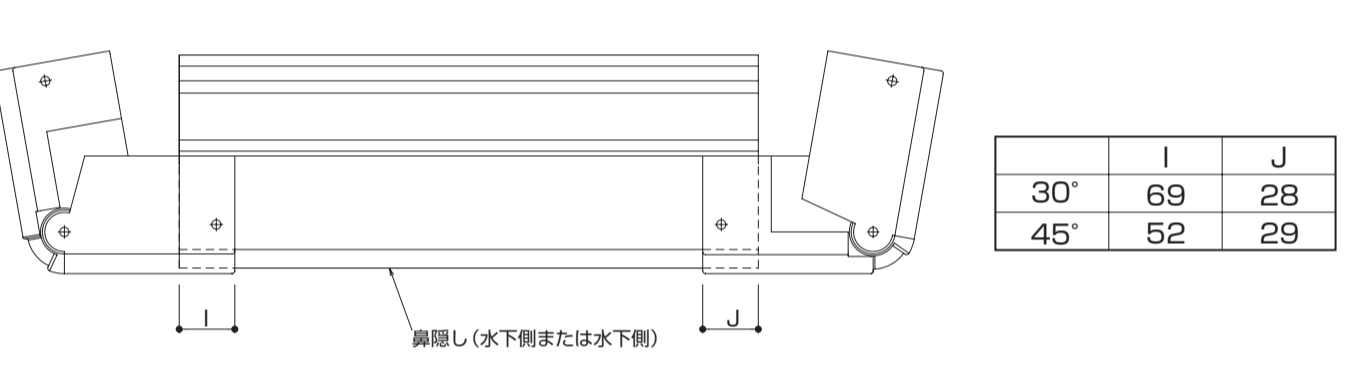
■取付要領

- 側面鼻隠しを本体説明書を参考に取付けてください。
- 折板の端部から、28mmの位置に水性ペン、またはテープなどで印を付けてください。(図参照)
- 角度部鼻隠し(水上側または水下側)の両端に出隅自在コーナーキャップを取付けてください。
- 平行部鼻隠し(水上側または水下側)を取付けてください。
- 角度部鼻隠し(水上側または水下側)を折板の印にあわせてかぶせ、取付けてください。
- 鼻隠しの穴にあわせ、現合で折板にねじ留めしてください。

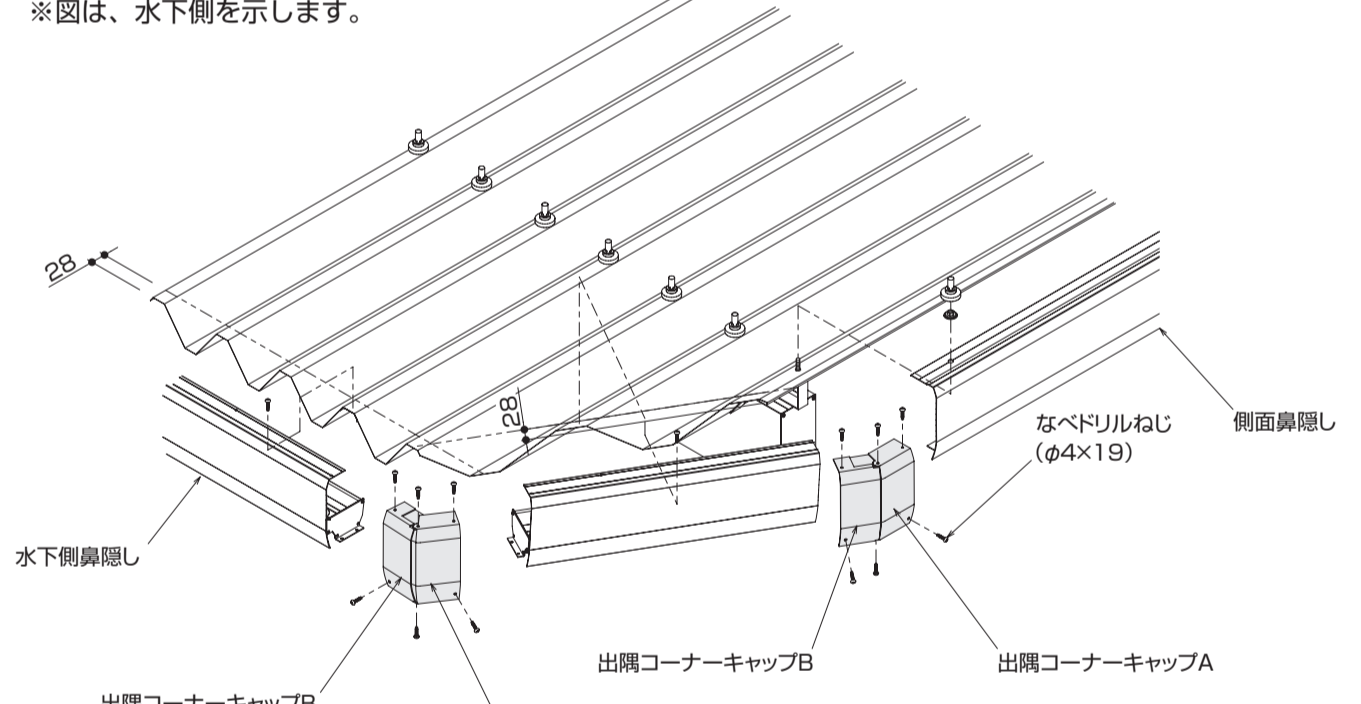
ポイント

折板にケガキ線などのキズをつけるとサビの原因になります。

●出隅自在コーナーキャップのみみみ寸法

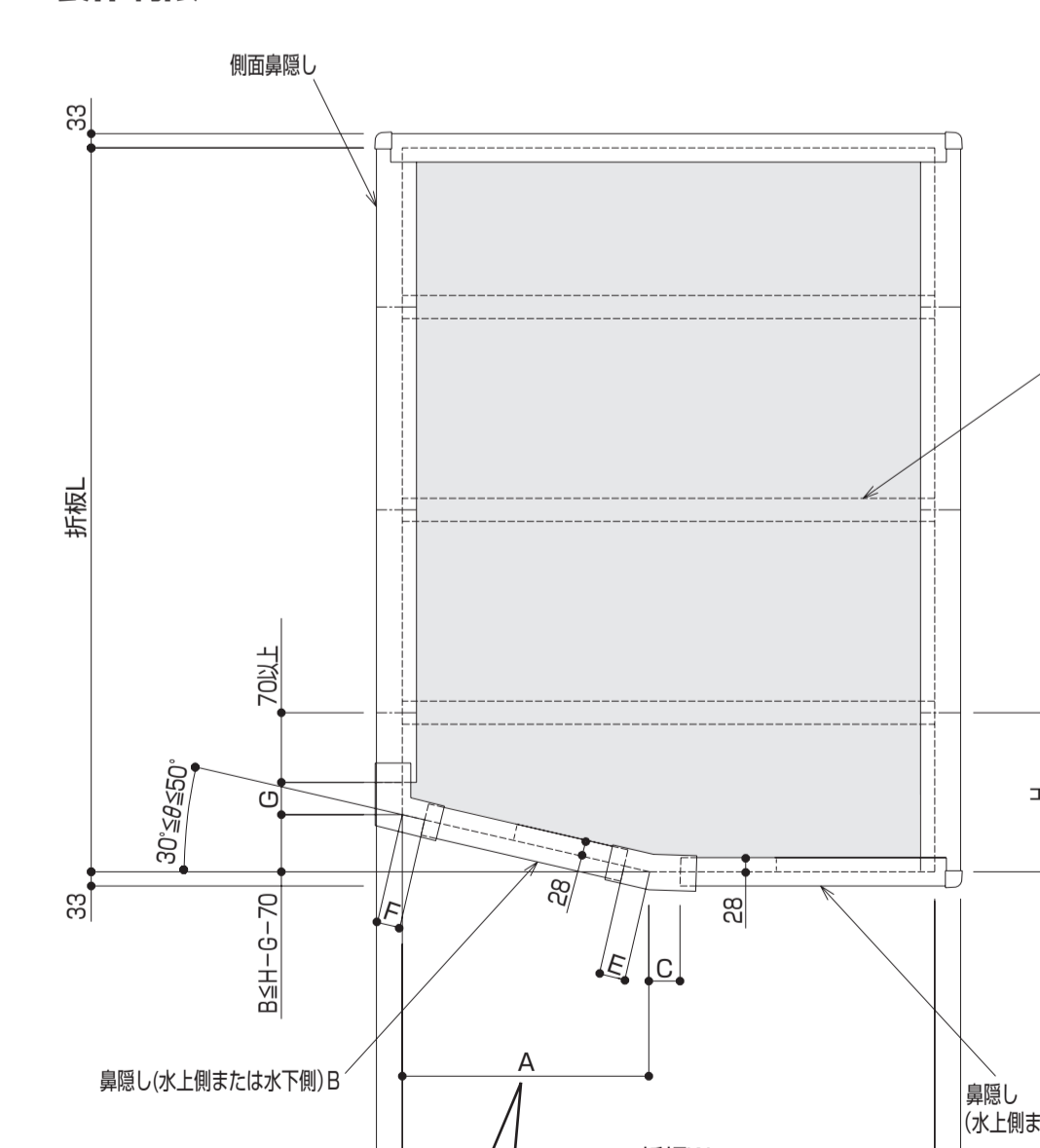


※図は、水下側を示します。



出隅B(左コーナー)

■製作制限



- A寸法は、水下側の場合、雨水が雨樋に流れるようにするために、右表の寸法例の寸法にて設定してください。
- A寸法は、水上側の場合、任意に設定可能ですが、B寸法制限を満足し、規格の鼻隠し長さで足りるようにするためには、A寸法は、下記の表の寸法制限にて、設定してください。

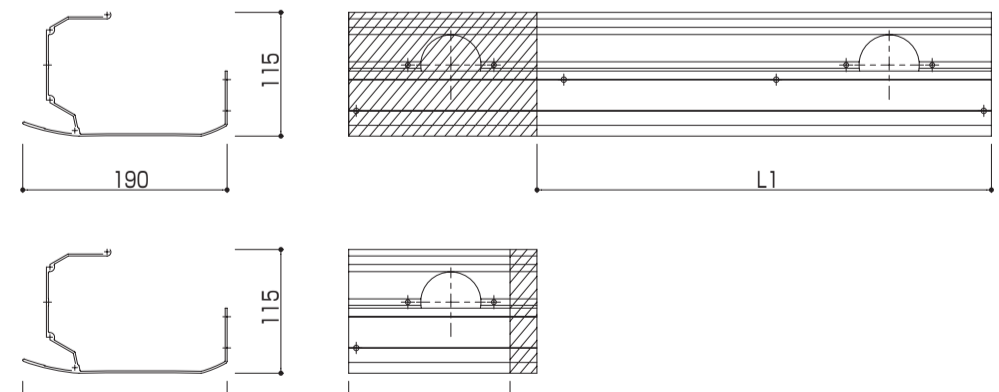
30°の場合	130 ≤ A ≤ 675
35°の場合	125 ≤ A ≤ 590
40°の場合	115 ≤ A ≤ 425
45°の場合	110 ≤ A ≤ 315
50°の場合	100 ≤ A ≤ 230

■切断・加工要領

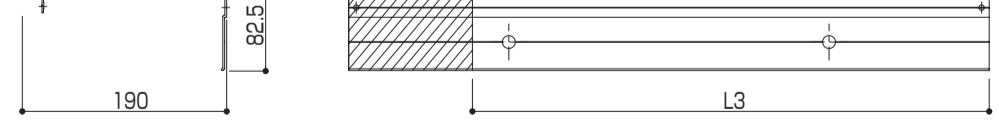
〈切断寸法表〉

条件	折板				C	E	F	G	鼻隠し (水上側または水下側) A	鼻隠し (水上側または水下側) B	側面鼻隠し		
	W	L	θ	B=A×TANθ									
寸法例	5400	5390	30	600	346	20	60	25	70	4803	608	4974	
			45	215	215					5203	146	5205	
	45	215	215	30	400	231	30	60	25	80	5178	219	5095
				45	215	215	30	60	25	80	5178	219	5095

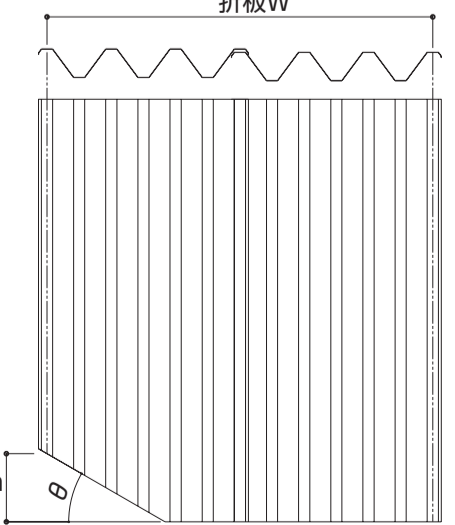
●鼻隠し(水上側または、水下側)



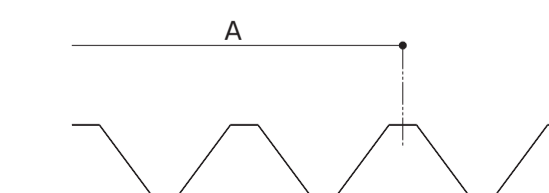
●鼻隠し(側面)



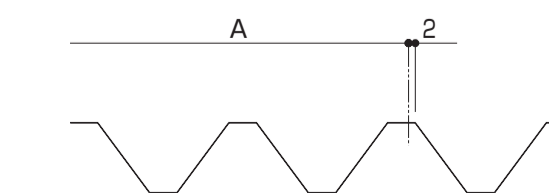
●折板



●θ=30°の場合



●θ=45°の場合



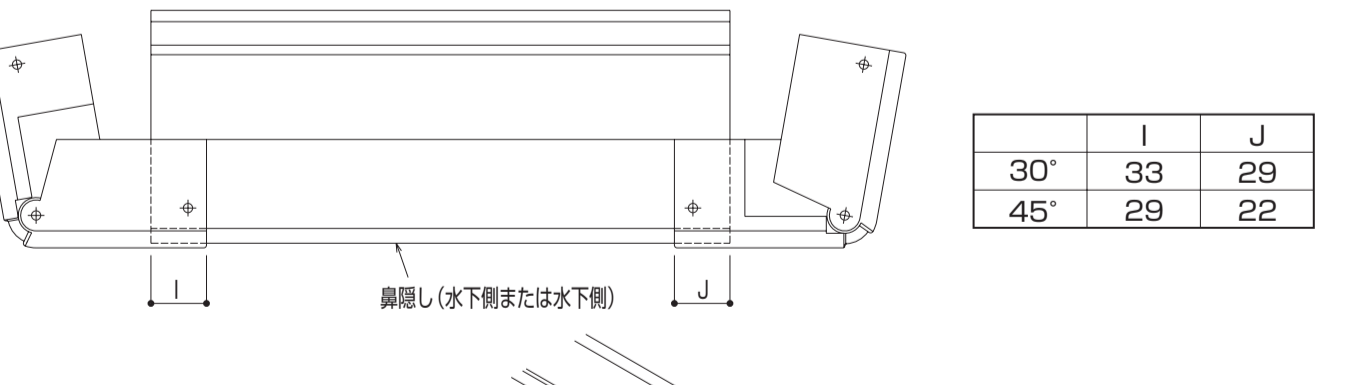
■取付要領

- 側面鼻隠しを本体説明書を参考に取付けてください。
- 折板の端部から、28mmの位置に水性ペン、またはテープなどで印を付けてください。(図参照)
- 角度部鼻隠し(水上側または水下側)の両端に出隅自在コーナーキャップを取付けてください。
- 平行部鼻隠し(水上側または水下側)を取付けてください。
- 角度部鼻隠し(水上側または水下側)を折板の印にあわせてかぶせ、取付けてください。
- 鼻隠しの穴にあわせ、現合で折板にねじ留めしてください。

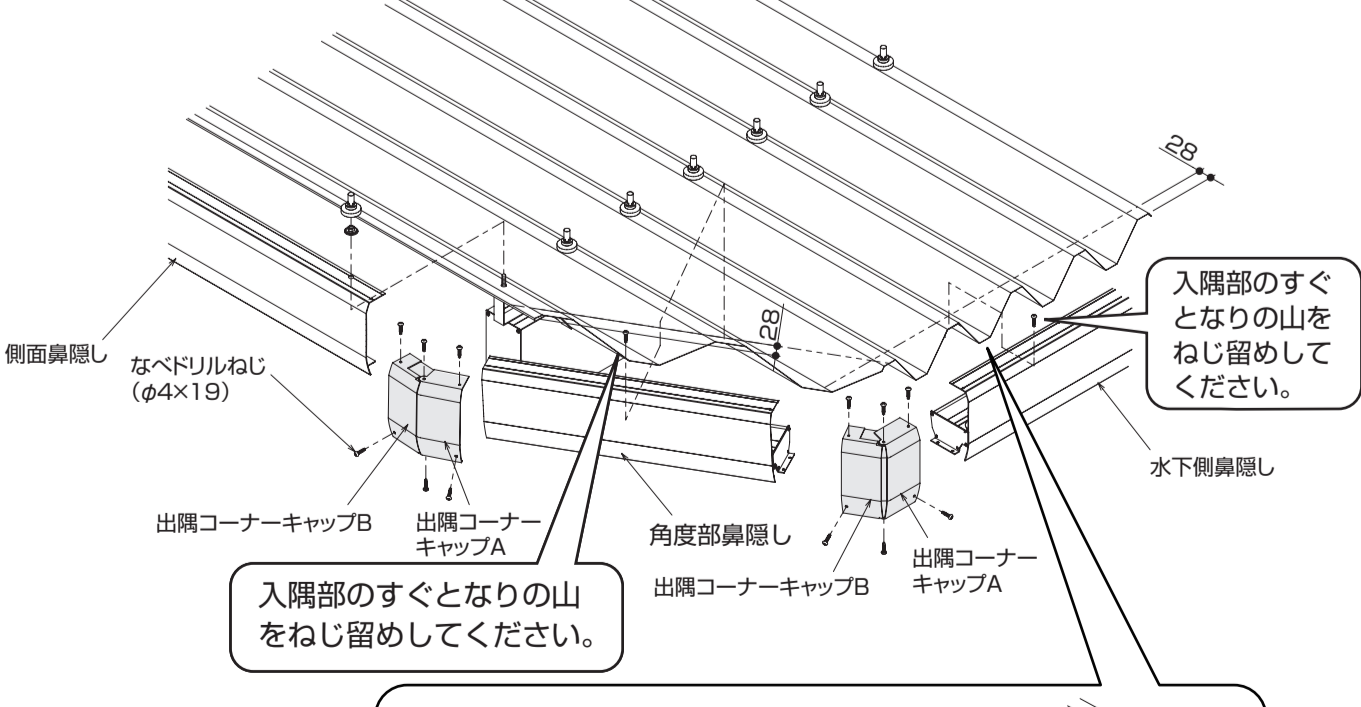
ポイント

折板にケガキ線などのキズをつけるとサビの原因になります。

●出隅自在コーナーキャップのみみみ寸法



※図は、水下側を示します。



- 屋根勾配が推奨値より緩くなった場合
軒先尾垂れを加工してください。
加工しないと、折板の下面に水がまわり込んでくるおそれがあります。